

目指す姿
1

力強い産業が発展するまち

- 「ものづくり」のブランド向上や新産業の創出を進めるとともに商業をはじめとした中小企業などの活性化を図ります

ものづくり高度連携促進事業

480万円

新たに中小企業・小規模企業振興基本条例を制定し、直面する課題やビジネス継続・拡大に向けた方策を官民一体で推進していきます。また、市独自の産業関係室のステップアップとして、市内企業の技術力を活かした共同受発注や技術習得の機能を有したプラットフォームの構築を視野に、中小企業の皆さんと生産管理システムの導入など生産性向上の仕組みづくりをスタートさせます。

- 多様なものづくり産業が集積している強みを活かして、市内外から人材の確保を図ります

府中に恋♡来いプロジェクト ～ふるさとワーキングホリデー×インターンシップ～



200万円

市内の企業に就職し、市内に居住する人材を確保するため、就活生・第2新卒者など就職活動を行う学生などを、インターンシップを通じて受け入れる市内企業を支援します。また、大学1・2年生をはじめ、より早い段階から府中に興味を抱いてもらうためのふるさとワーキングホリデー事業にも一体的に取り組むことで、府中市で「住みたい」「働きたい」人を増やします。

ドローンの実証支援から日本有数の産業の集積地へ

2,696万円

ドローンは、機体製造をはじめとして、システム開発や活用事業など多くの関連した産業があります。その裾野が広いドローン関連事業者と地域や行政をマッチングさせる窓口機能を強化し、実証実験誘致や利活用を推進する中で、ドローン産業の集積を図り、本市に新しいビジネスチャンスを生み出すことを目指します。

- 「農」の持つ可能性と新たな価値を追求するなど、未来につながる農林業の振興を図ります

農業振興ビジョンの実現に向けて

420万円



カーボンニュートラルも視野に、稼ぐ農業と農業関連ビジネス（アグリビジネス）の創出を目指し、プロ農家育成に加え、半農半X・体験農業をはじめとした多様な担い手の確保、農作業の共同化やスマート化、土づくりからの高付加価値化、マーケティングなど専門人材の確保や商社機能の構築などにより、次世代につなぐ持続可能な農業・農村の確立に取り組みます。併せて林業分野においても、森林のゾーニングや経済循環の仕組みについて検討していきます。

目指す姿
2

人・つながりが育つまち

- 安心して子どもを産み育てることができる環境をつくります

子どもの予防的見守り支援事業

3,675万円

子どもを取り巻くリスクへの予防的支援のため、県とともに開発しているAI見守りシステムの本格運用に向けて、庁内体制や仕組みづくりを行います。

- ふるさとを愛し、地域社会や世界で生き抜く力を持った子どもを育成します

放課後ラーニング・サポート事業

1,152万円

市内8校の小学校および義務教育学校前期課程に、放課後学習支援ができる場として、放課後ラーニング・サポート（略称「らんさば」）ルームを開設し、児童生徒の「学ぶ意欲」と「確かな学力」の向上に取り組めます。

特別教室等空調設備整備事業

715万円

全県的に先駆ける施策として、市立学校のすべての教室に空調設備を設置し、安全・安心で最新の学習環境を児童生徒に提供していくために、現在未設置となっている特別教室などに空調を設置するための設計を行います。

上下高校の魅力開発と支援

689万円

生徒の自己実現、ライフデザインを後押しするため、専任コーディネーターを中心に、地域、市内企業の協力を得ながら、「一流・ホンモノ」との交流や上下高校ならではの魅力づくりに取り組み、市内外からも選ばれる学校を目指します。

- 多様な人材が活躍できる土壌を育てます

地域の教育力の向上 ～公民館から広がる可能性とチャンス～

3,751万円

地域全体で子どもたちの教育に参画し、地域人材が活躍する地域学校協働活動を促進させるため、公民館が地域と学校を繋ぐ役割を担います。また、市民の新たな学習機会を創出するため、ICTの活用や公民館同士の連携を推進するとともに、諸田公民館、河佐公民館にも活動の中心となる職員を配置し、公民館活動の底上げを図ります。

その他にも

昨年7月に開設した「ちゅちゅ」に加え、令和4年度からは上下地域の子育て×高齢者介護×健康推進×障害福祉を包括したワンストップ相談を展開するとともに、障害者の働く場、学びや福祉人材の育成、地域の交流・賑わいの総合拠点として中山間地域の新しいモデルとなる「上下地域共生交流センター（仮称）」をオープンさせます。